

編集後記

平成 17 年に茶の文化の原点を考える「CHA 文化セミナー」を主催し、引き続き平成 18 年度には、「CHA の心」の実践活動として「堺発“もてなし茶会”」の試行に取り組みました。以来 4 年間、当会では「CHA の心」の実践活動のあり方を探って参りました。

平成 20 年 12 月、益川敏英教授がノーベル物理学賞受賞の式典に臨まれた際にスウェーデン科学アカデミーによる“もてなしの心”に触れられ、かねて日本において身近に接してこられた日本固有の文化が彼の地でも見事に再現されていたことに驚かれ、改めて本来的な“もてなしの文化”のあり方を強く発信されました。また、ごく最近(平成 21 年 2 月)では、人間の尊厳の精神として“もてなしの心”が評価され日本映画「おくりびと」が米国アカデミー賞外国語映画賞を獲得しました。

このように、昨今、洋の東西を問わず、“もてなしの心”がいろいろな場面で受け入れられ評価されるようになり、よりよい人間関係の形成に一層の関心が高められるようになってきました。

平成 20 年初め、NPO 法人南大阪地域大学コンソーシアムでは、「キャリア教育」の事例として当会の「CHA の心」の実践活動を取り上げられ、堺市教育委員会の「教育プログラム」としてインターネット上に公開され当会活動の普遍化に切り口を開いていただきました。また、大阪府立大学では現代 GP(Grand Plan)「地域学による地域活性化と高度人材養成」の最終年度事業として当会企画提案事業「世界の茶の文化セミナー」を主催事業としてお取り上げいただき、当会が掲げる大テーマ「茶会をつなぐ堺と世界」に世界への足掛かりを切り開いていただきました。

まだまだ、本来的な活動の緒についた段階ではありますが、暗中模索の状態から、まずは現代的な潮流の中に息づき、実践の中から培った経験知を糧として今後の展開のあり方を見据え、形式美にとらわれない「堺発 “もてなし茶会”」として名実ともに具現化すべく精進して参ります。

今後とも相変わりがせぬご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

前田秀一記

茶会をつなぐ “堺” と世界

— 堺発 “もてなし茶会” と「世界の茶の文化セミナー」 —

- 発行日：平成 21 年 3 月 30 日
- 報告者：市民活動団体 “堺なんや衆”
- 編集委員(50 音順)：
飯山義隆、井関貴史、大澤徳平、岡田明寛、
田岡美賀恵、寺田憲二、前田秀一(編集責任者)
- 本書に関するお問合せ先：



〒591-8021 堺市北区新金岡町4-7-56

市民活動団体 “堺なんや衆” 理事・事務局長 前田秀一

Fax:072-251-6593 e-mail:jsmaeda072@msn.com

- 印刷・製本：株式会社 日青